

県 外 派 遣 報 告 書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	第36回関東スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	開催地	埼玉県
報告者名 (所属連盟)	田中由紀子 (ミニ連) 派遣期間 平成29年7月28日 ~ 30日		
参加者 (所属都県)	<講師> 安西 郷史氏 吉田憲生氏 竹澤 友美氏 小柳 幸子氏 <ブロック長> 山野辺 智晴氏 ・各県審判長及び派遣審判員・(審判長は◎印、副審判長は○印、敬称略) <茨城県>◎飯島祐紀 村井星夏 安藤侑貴 <群馬県>◎中島孝弘 攪上達也 飯泉佑樹 <東京都>◎出嶋博史 久我剛弘 川畑睦 <千葉県>◎相木康岳 金田圭介 田久保智之 <山梨県>○深澤雅俊 渡辺伸一 遠山照利 <神奈川県>◎宇田川晶彦 鴨崎征臣 中島定治 <埼玉県>◎河津 太志 ○小柳大介 大窟賢司 小泉登 中西功 浜田智之 山下大志 松浦英和 松浦晶子 福田忠司 田中優太 小林恵 小峰哲治 中村美穂 服部冬馬 金井大樹 矢島優紀 日野原由香 金春華 大橋和茂 <栃木県>◎仲井順 田中由紀子 新島薫		

【審判会議内容】

式次第

- 1、挨拶 関東ミニバスケットボール審判委員会 委員長 山野辺 智晴氏
- 2、挨拶 埼玉県ミニバスケットボール審判委員会 委員長 川津 太志氏
- 3、講師紹介
安西 郷史氏(本部・S級) 吉田 憲生氏(本部・B級) 竹澤 友美氏(本部・S級) 小柳 幸子氏(本部・A級)
- 4、講義(安西 郷史氏)
 ～2POメカニクスの習得～
 ・3POを踏まえた2POメカニクスが伝達され、各都道府県講習会で使用されている。
 →「リードで右にいかない、ずっと止まっている」ということが良いと思われてしまっている。
 セットアップポジションで止まっている人が増えた。
 [2PO、3POは別物という考え]
 例: 2POはTの可動域が広い(Cの役割を担う)。
 Lからミドルラインを超えても、明らかに判定できるものは鳴らしていく。(Lからでない判定出来ないものも有る)
 [メカニクスより確認できる位置取りと動き]
 ・リードで右にいかない、行くことが極端に減る。
 →右には気になったら行く(PaintAreaで何も無いことを確認しながら)(NoWorkingAreaには止まらない)
 (QuickShot.Pass.Driveがある時、Shotclockが残りわずかな時には移動しない)
 ・止まり続けてしまう。
 →良い位置に動いて止まって判定するということが大切。(動く・止まる・判定)
 [まとめ]
 ・3POメカニクスを踏まえた2POメカニクスは良い判定をするためのツール。ツールを上手に取り入れることがより良い判定へとつながっていく。
- 5、割当発表
- 6、事務連絡

【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

今大会の各県から非常に多くの若手、またはフレッシュの審判員が多く派遣されています。年齢や性別は関係なく皆様、各県の代表として堂々と試合に臨まれていました。又、開催県である埼玉県の審判員の方々にも男女問わず、多くの若手やフレッシュの審判員の方々がいらっしゃいました。同じ関東の審判員同士、志を持って切磋琢磨する姿に感銘を受けました。

今回、三日間の大会の中で私が体験してきたことをしっかりと栃木県内に持ち帰り、県外の若手やフレッシュ審判員の方々同様、今後の関東と栃木県をを支えていける仲間を作っていき、支えあいながら技術向上に努めていける様、精進していきたいと思っております。

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

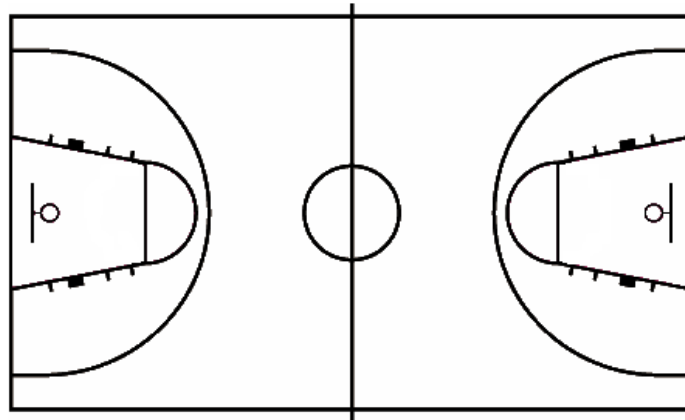
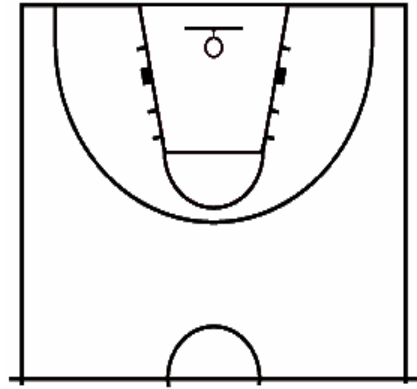
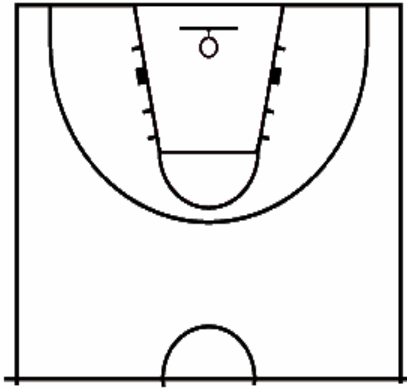
県外派遣

審判ミーティング記録表

割当日：平成29年7月29日30日

審判員名	田中 由紀子	相手審判	(主・副) ①村井 星夏 ②遠山照利 ③久我 剛弘	所属	①茨城ミニ ②山梨 ③ミニ
カード	①弥生第二(東京) ②宗岡(埼玉A) ③鳩ヶ谷桜(埼玉B)	対	戸田(埼玉B) 泉(神奈川) 井(レインボーズ(千葉))	今 東深	

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

① 4Q残り2分過ぎてから、ショットクロックの確認ミスがあり、それに関してのベンチ対応がなかったことが残念だった。管理ミスがないのが一番だが、きちんと対応することがベンチ管理につながる。また、ミスをきちんと訂正することで、ベンチへの声掛けもしやすくなる。

コート内の10人だけでなく、ベンチ・TO・観客等も見て考えられると良い。そのためにはもっと声を使って大きく全体にわかりやすく見せること。

より良い位置で判定することがベンチの気持ちに寄り添い、良い関係性が作れることにつながる。また、何かあっても説明できるので良い位置を求めてほしい。

ディフェンスのシリンダーから出ている手が、オフェンスの手をなぞる、そっとでも当たる、ファウルは鳴らしていつてもらいたい。

② プレイヤーの特徴やチームの特徴をより早く掴んで判定や視野を向ける材料にして欲しい。同じプレイヤーのファウルやトラベリングに目が当たっていない原因になっている。

ゲームコントロールの為に、時計が止まっている時間にベンチ・TO・観客へ注意を向け、ゲームコントロールの材料にしてほしい。

ファーストコンタクトのハンドチェックや手のかけ方をもっと判定してもよい。フラストレーションになっている。

③ 相手審判との距離が開いてしまい、相手が苦しいことがあった。(トレイル、newリード) 気がついた後でもよいので

《審判主任》①竹澤氏(本部)②飯島氏(茨城)③小柳氏(本部)

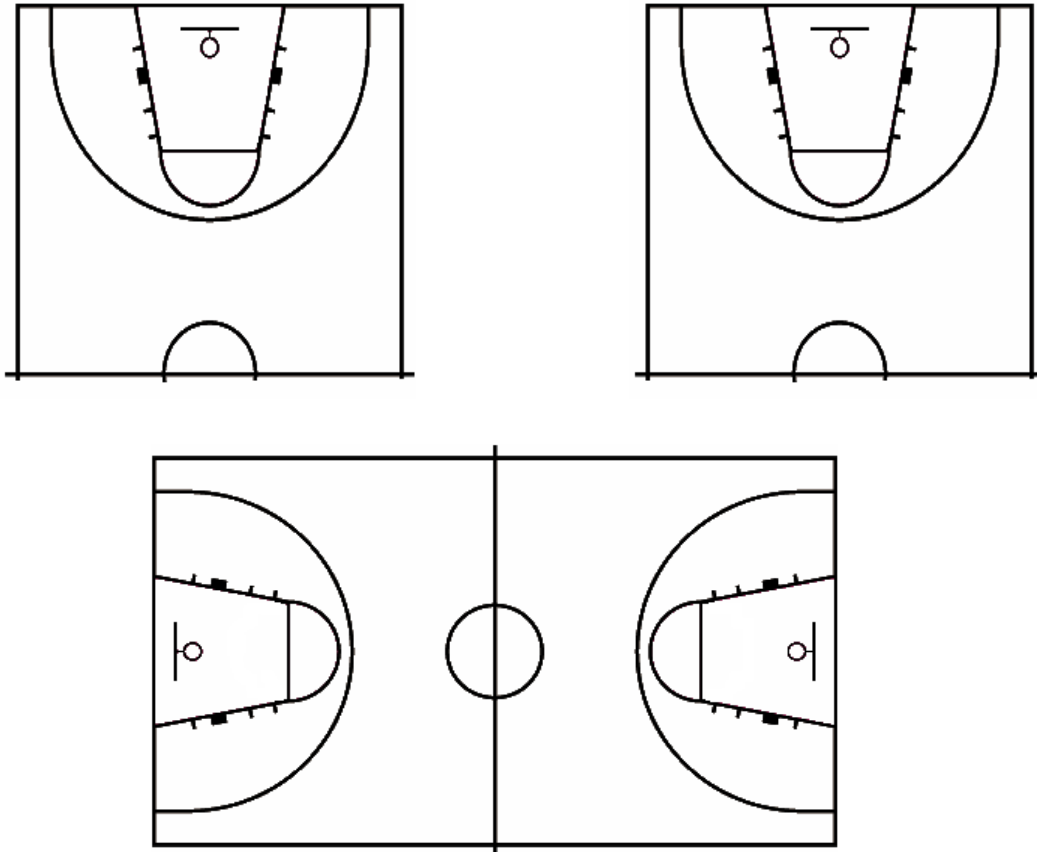
※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成29年7月29日30日

審判員名	仲井順	相手審判	①(副)金田圭介(千葉県) (主・副) ②(副)田久保智之(千葉県)
カード	①【男子】宗岡(埼玉)対池田(山梨)		②【女子】柿生(神奈川)対鳩ヶ谷桜(埼玉)

◇ ケース・ポジションについて



◇ ミーティングの内容

- ①主審として、1Qの中で、判定をしにいてもよいようなケースがあった。また、ショットに関して、取り上げた方がよいケースもあった。しかし、2Q以降、体の寄せやリバウンド後のファウルなど取り上げていた。
- ②取り上げたファウルの中でリバウンド時のボックスアウトに対し笛を入れたが、もう少し見ておいても良かったのではないかと。その他のものに対しては、丁寧に取り上げていたと思う。また、ベンチともコミュニケーションを図りながらゲームを展開できてい

《審判主任》小柳幸子(本部) 小泉登(埼玉)

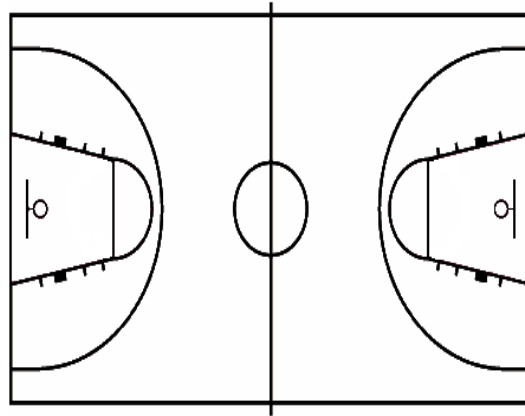
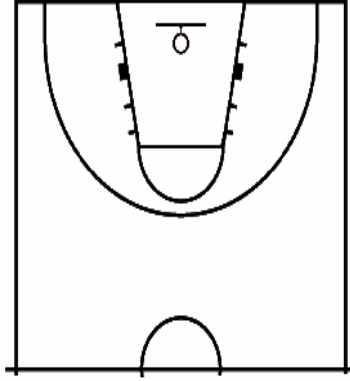
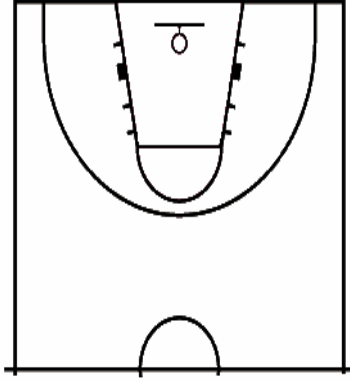
※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

県外派遣

審判ミーティング記録表

割当日 平成29年 7月29日 30日

審判員名	新島 薫	相手審判	29日①(主)宇田川昌彦(神奈川)29日②(主)出嶋博史(東京)
カード	①川口じりん(埼玉A) ②シュニアファイブ(千葉) ③下妻(茨城)	対	30日③(主)竹澤友美 ①東深井レイホース(千葉)女子 ②宗岡(埼玉A)男子 ③敷島南(山梨)女子
◇ケース・ポジションについて			



◇ミーティングの内容	①手、肘、腕、肩の寄せ。オフェンスがボールを運んでる際の体の寄せをもっと追従して確認出来る位置まで行っ 良い。・シューターへの手の当て方をもっとシビアに見て良い。・T.Oとの連携。もっと声を掛けてあげて良い。・トレイル。ミドルラインを越えても 良い。下がって視野を広げると良い。・プレイヤーとの距離が近すぎ。もう一步二歩下がると良い。主任 出嶋博史
	②T.O管理 ベンチ管理 ・ショットクロックが何度かリセットされてしまった。気がついた時には止めて良い。・ヘッドコーチではないがアシスタントコーチの 方のベンチアピールがかなり気になった。ベンチの方に寄り添い話を聞いたり説明があっても良かった。・ラストタッチ 自信を持って吹く。 確認が弱い時のみ相手審判を見る。・クロスコール クロスダウンして良い。位置的に弱い。・ファウル数の数が寄ってしまった。2P3P青ばかり ファウル数が積んでしまったが同じシチュエーションで白が吹かれていない場面が何度かあった。均等に吹くべき。吹き急ぎすぎて正確な判断 出来ていたか。主任 小柳大介
	③ルースボールへの手の絡み。・近づきすぎて全体を見れていない。後ろから手が出ている。・リード、スイッチサイドに持って行くべき。 ・フロントコートでのサイドスローイン、センター争いがボールが入る前からある。声をかける。予めスイッチサイドで受けて良い。・オフボールをもっとシビアに 手の使い方から体の寄せ。・確認が出来たらすぐ吹いて良い。・トレイル 下がって左を捨てずに3番エリアに目を当てる。もっとクロスステップ を活用して見に行きより良い位置に足を運ぶと良い。主任 相木廉岳
《審判主任》①出嶋氏(東京)②小柳氏(埼玉)③相木氏(千葉)	